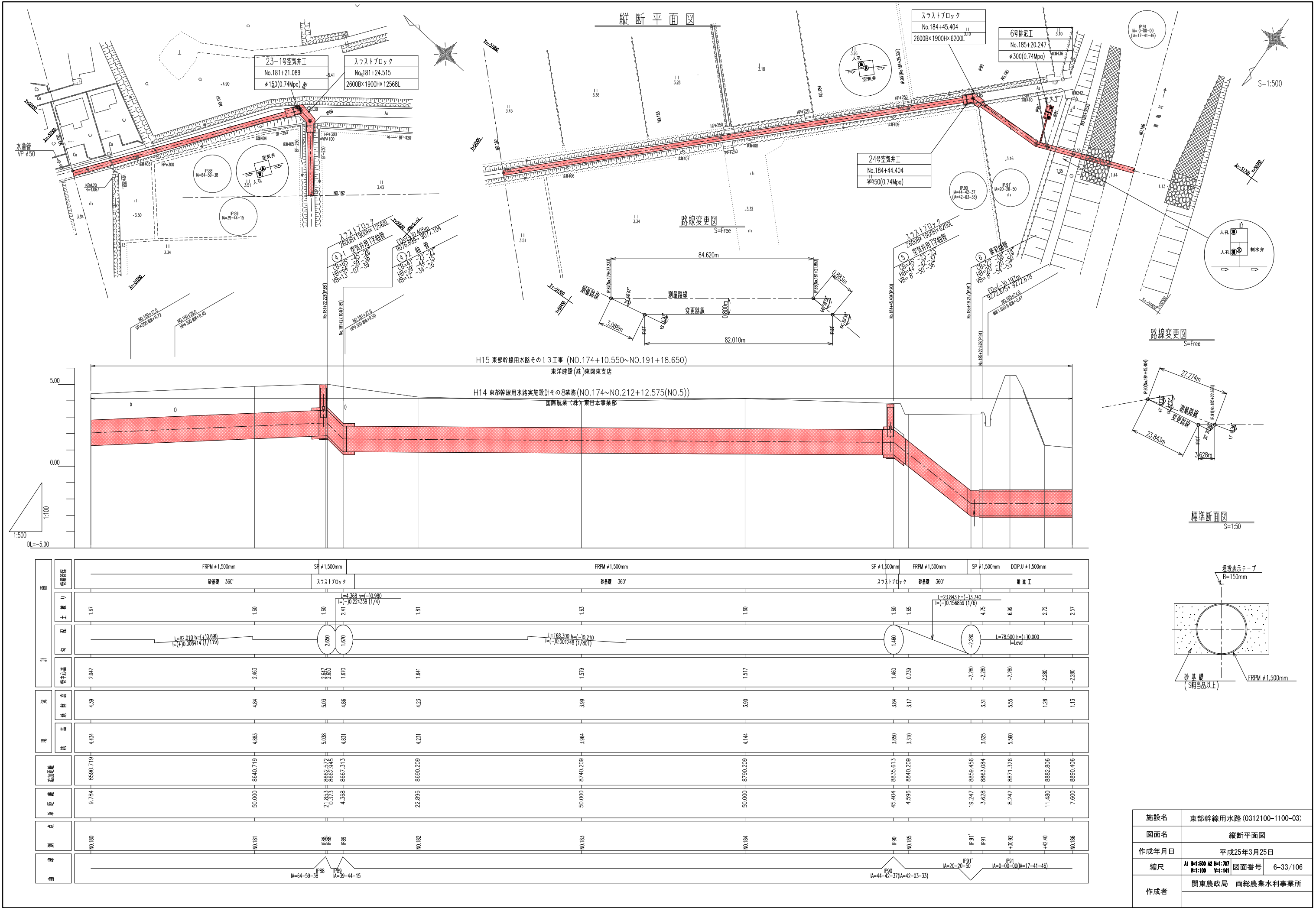


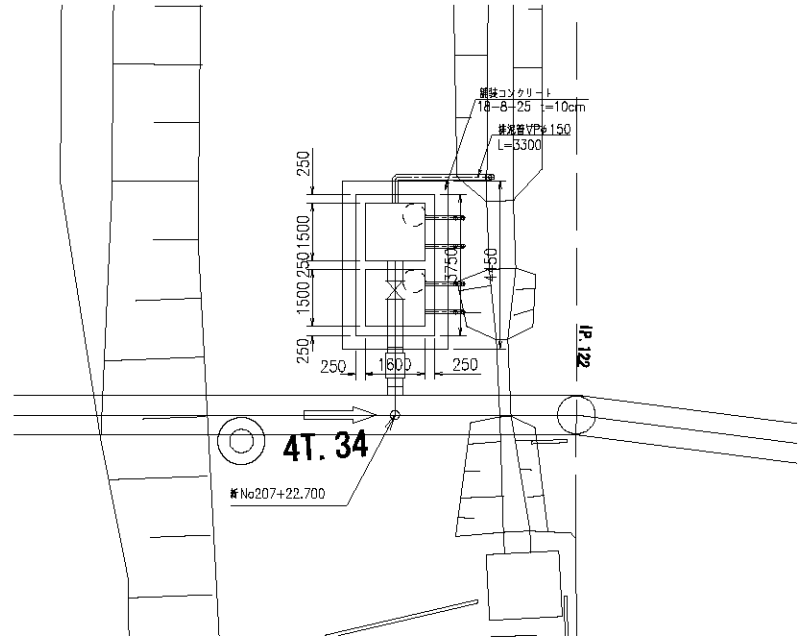


12-5号 排泥工構造図

S=1:50

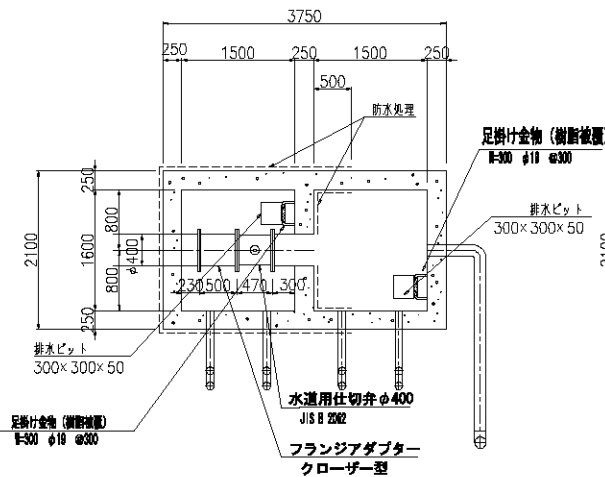
位置図

S=1:100



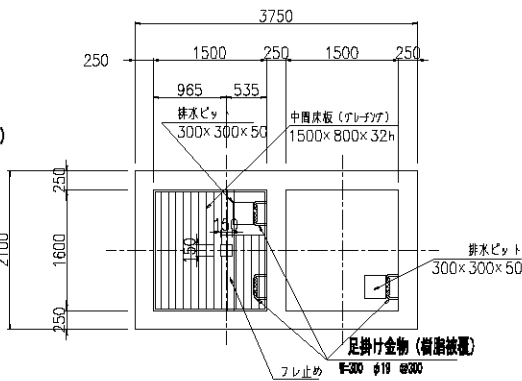
平面図

下面図 S=1:50



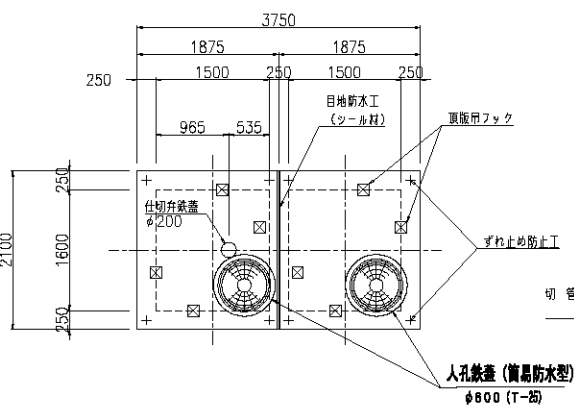
平面図

上面図 S=1:50



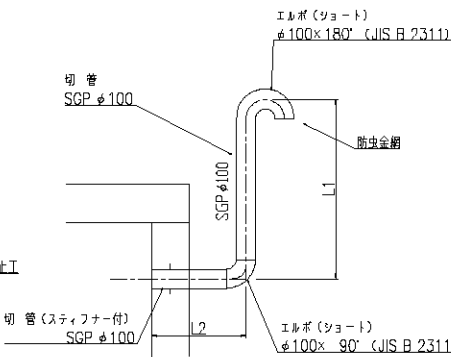
頂版平面図

S=1:50



空気抜き詳細図

S=1:20

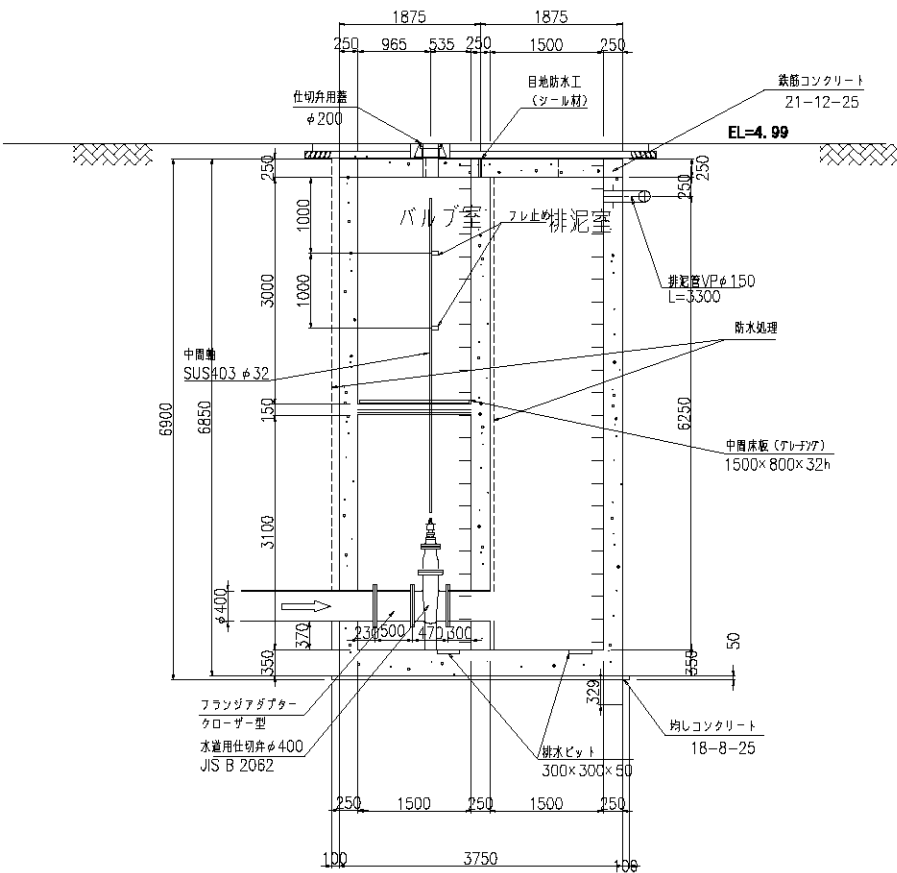


※通気管は亜鉛溶融メッキを施すこと

L1(mm)	950
L2(mm)	800

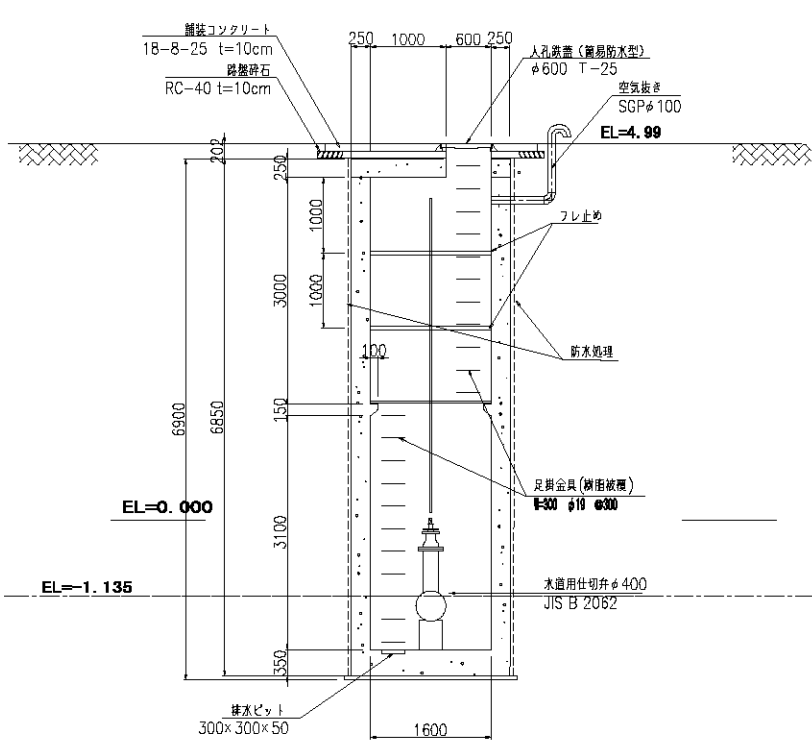
縦断図

S=1:50



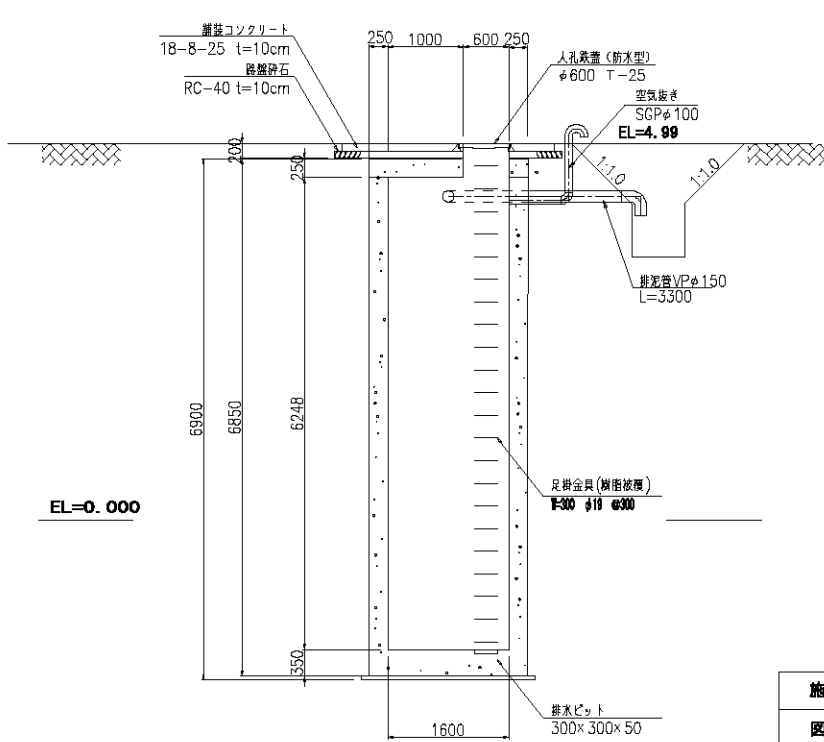
バルブ室断面図

S=1:50



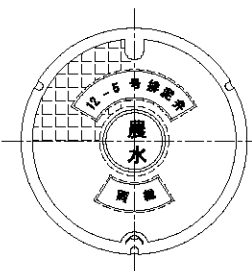
排泥室断面図

S=1:50



マンホール蓋詳細図

S=1:10



施設名	東京幹線用水路 (0312100-1100-03)
図面名	12-5号 排泥工構造図
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示 図面番号 8-101/149
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所

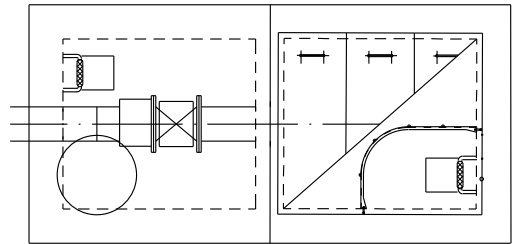
排泥工番号			路線名	東部幹線用水路			緯度	35°32'09.82"		
6号排泥工			関連事業名				経度	140°23'08.08"		
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	2,740 (2,050) 1,440 (1,010) 4,180 (3,060)	国営 計画流量 (m³/S)	計	最大流量 3.44m³/S	施設容量 3.44m³/S	排泥工付近 標高(m)	地盤高 管中心高	3.47 -2.88	
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位		

概要

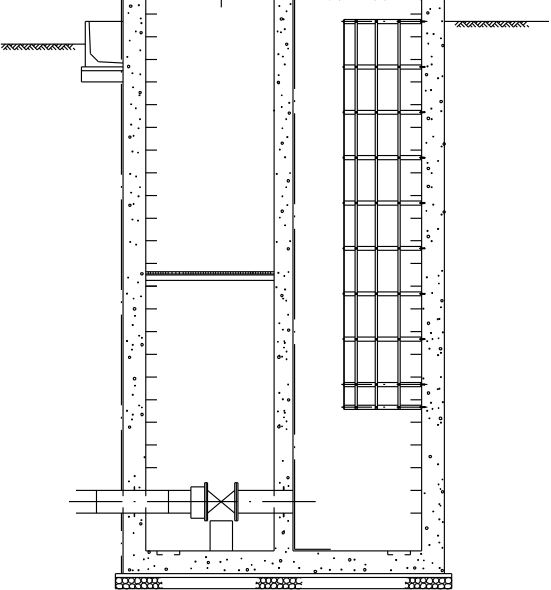
※受益面積欄上段の数字は松潟支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、
下段() は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松潟支線分を含まない）の受益面積を表示している。

排泥工は二級河川真亀川の左岸側に隣接し真亀川西野堰の赤い水門が目印である。

平面図



縦断面図



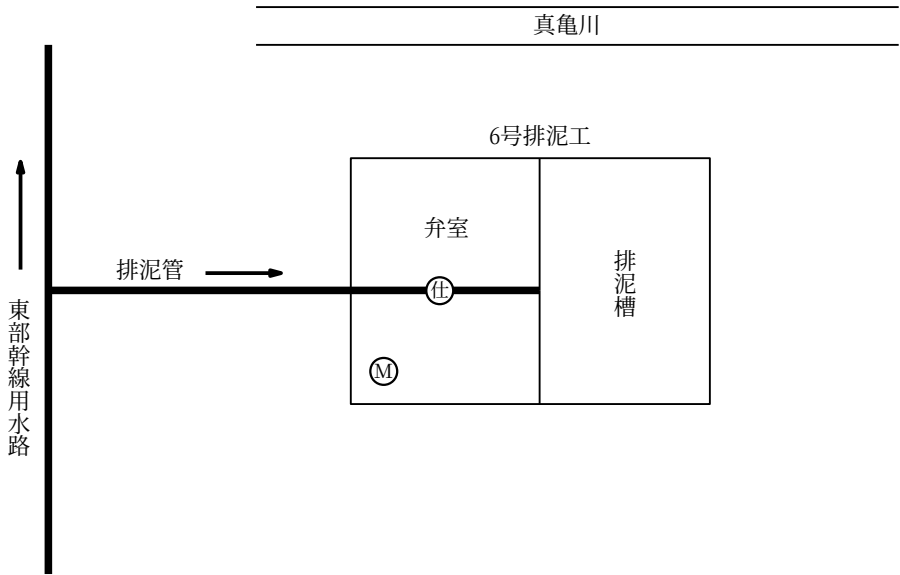
弁室人孔（マンホール）
6号排泥工の仕切弁はこのマンホールの弁室内
に設置されている。
操作はマンホール脇の弁蓋から開栓棒により行う。



排泥工番号			路線名	東部幹線用水路	緯度	35 ° 32 ' 09.82 "	
6号排泥工			関連事業名		経度	140 ° 23 ' 08.08 "	

説明図

管理施設・配管・模式図



凡 例	
空 気 弁	⊗
仕 切 弁	⊕
マンホール(人孔)	Ⓜ

【排泥弁について】

6号排泥工の主弁は手動仕切弁で、全閉操作、全閉からの
開操作時は開栓棒（開は時計廻り）での操作となる。
仕切弁は上部に開栓棒の受け口が設置されているタイプ。
排泥作業は、隣接する排泥槽へ水中ポンプを降ろして排泥槽
外へ排水する方式である。